






新しいチームケアのかたち。ここから。

トリニティケアクラウド 多職種連携モデル

-  医師とのコミュニケーション
-  多職種間の情報共有
-  バイタルの遠隔モニタリング



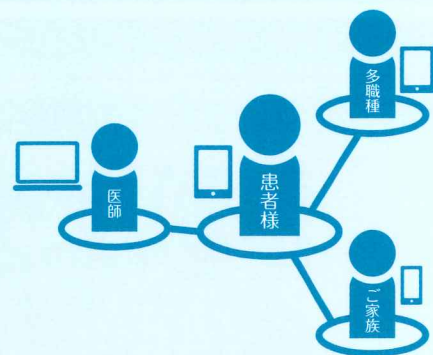
信州大学、モバイル電子チームケア研究会
(NHOまつもと医療センター 武井洋一会長)

キッセイコムテック株式会社

自宅を安心・安全・快適な病室へ

「自宅を安心・安全・快適な病室へ」をコンセプトとして誕生したトリニティケアクラウドは、患者様を中心としたシステムです。

患者様、ご家族を含むチームでのコミュニケーション、バイタルサインの遠隔モニタリング、多職種で発生するケア情報の共有など、在宅療養における課題を解消します。



多職種連携モデルの3つの特徴



医師との
コミュニケーション

患者様とご家族の不安を軽減



非公開型SNS機能



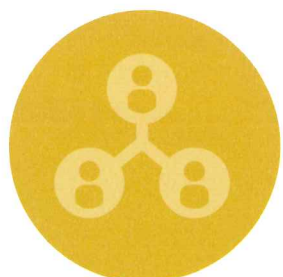
バイタルの
遠隔モニタリング

介護支援者様の外出が可能に



バイタル情報、アラーム転送

外出先



多職種間の
情報共有

チームケアを効率化



ご利用事例

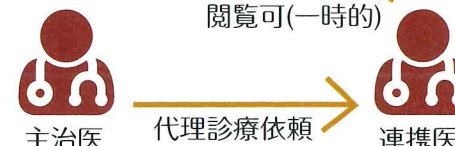


在宅医療・介護連携

在宅療養者様・ご家族を含む多職種メンバーが「医師とのコミュニケーション、バイタルモニタリング、情報共有」の3機能を有効活用しながら、充実したチームケアを実現しています。



診療サマリ
閲覧可(一時的)



診診連携

診療サマリを一時的に閲覧できる権限を連携医に付与する機能が代理診療などの場面で活用され、診診連携をサポートしています。

画面サンプル

ホーム画面

多職種で発生する多職種情報を経時的かつ網羅的に把握できます

クローズドSNS画面

患者様・ご家族と医師が直接対話できます

注:このシステムのベースは、信州大学およびモバイル電子チームケア研究会で開発されました。

注:このシステムのベースは、信州大学およびモバイル電子チームケア研究会で開発されました。

在宅医療における現場の声



在宅患者様・ご家族が医師とコミュニケーションできることが画期的!

一番重要な「患者さんやご家族と医師がコミュニケーションする」というシステムはこれまでありませんでした。日々の患者さんの記録がわかるだけでなく、直接的な対話ができ、これによって入院を回避できたことがありました。訪問診療の手間も省けます。

信州大学医学部、NHOまつもと医療センター 中村昭則 医師



診療や看護の隙間を埋めてくれる安心感がある!

在宅看護は精神的にもすごくつらくて、毎日いっぱい不安があるんです。そんな中でタブレットの向こう側に先生がいてくれて、医療の隙間を埋めてくれているという安心感から精神的負担が軽くなっていると思います。

在宅療養者様ご家族



チームケアを実感して安心できる

自分が不安に思う事があったとき、これを見た皆さんからお返事を頂けるので、今はすごく頼りにしています。ご家族からの入力もあるので、ご家族や患者さんが大丈夫だなということを離れた場所からでも知ることができ、安心して関わる事ができてます。

相澤訪問看護ステーション ひまわり 矢野倉 美津子 看護師

まずは、お試しを

1 2次元バーコードの読み取り
URLのアクセス

2 ご利用者様による新規ユーザ登録
(サービス開通)

3 お試し版の開始
(サービスのご利用)

課金メニューに応じた
サービスをご用意



2次元バーコードを読み取り、以下のURLにアクセスして下さい。
以下のキーワードを検索すれば、弊社のHPよりアクセスできます。

キッセイコムテック トリニティケアクラウド 地域包括ケア

URL: <https://www.trinity-care.com/hntc/top>

※スマートフォン、タブレット、PC等は別途ご用意頂く必要が有ります。
※導入研修、その他オプションについては、お問合せ下さい。
※生体モニタリング可能なバイタル機器については、お問合せ下さい。

お問い合わせ・ご相談

デモを見たい・導入事例やメリットを知りたいなど、お気軽にお問い合わせください。

キッセイコムテック株式会社
トリニティケアクラウド担当
Email: trinity-care@comtec.kicnet.co.jp